

.....編集後記.....

◆ワープロやパソコンの普及で、ほとんどの原稿がプリントされたものとなり、さらに近頃では図表も墨で製図されたものではなくなってきました。地質ニュースも今年の5月号から電算化を実施したのですが、そうすると原稿用紙に書かれた投稿原稿がなんだかとても貴重なものに見えてしまいます。

◆先月号に引続き、今月号も一部が地熱特集となっています。この特集の母体となった地質調査所研究発表会については本号 p. 62 にふれています。発表会の会場でのアンケートで、「地質調査所の成果の利用」に関して、地質ニュースが地質図とともに利用のトップになったことは、編集委員会の一人として大変誇らしく感じるとともに、気の引き締まる思いがしました。

(宮崎光旗 記)

◆表紙の写真は、日本写真作家協会の高野信幸氏の作品です。貴重な写真を提供して下さった高野氏に厚くお礼申し上げます。

(佐藤興平 記)

.....

原稿募集中!

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行23字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネ〜六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース編集委員会

委員長：佐藤壮郎
 副委員長：佐藤興平・磯部一洋
 幹事：宮崎光旗・奥村公男
 委員：柴田 賢・滝沢文教・岡村行信・村岡洋文・渡部芳夫・井内美郎・金沢康夫・佐藤岱生
 事務局：総務部業務課広報係(山口秀樹・清水真寿美)
 〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所
 地質ニュース編集委員会
 事務局 Tel. 0298-54-3520
 Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地質ニュース	第457号 1992年9月号
	定価 ¥ 770 千実費
1992年9月1日 発行	
編集	工業技術院地質調査所
発行人	林 久雄
発行所	株式会社実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12
	〒102
	Tel. (03)3265-0951 (代表)
	振替口座 東京1-32466
	麹町局私書箱第21号
印刷	小宮山印刷工業株式会社

©1992 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文して下さい。